

実施課題名 課題A:各種観測データの一元化

課題責任機関： 国立研究開発法人 防災科学技術研究所

事業責任者(説明者)： 上田 英樹

火山研究推進センター 主任研究員

地震津波火山ネットワークセンター 火山観測管理室長

H29年度：データ流通WG

実施内容：関係機関の調整のため、16の組織、18名の委員によるデータ流通WGを設置し、火山分野のデータ流通の仕組みについて検討を行った。

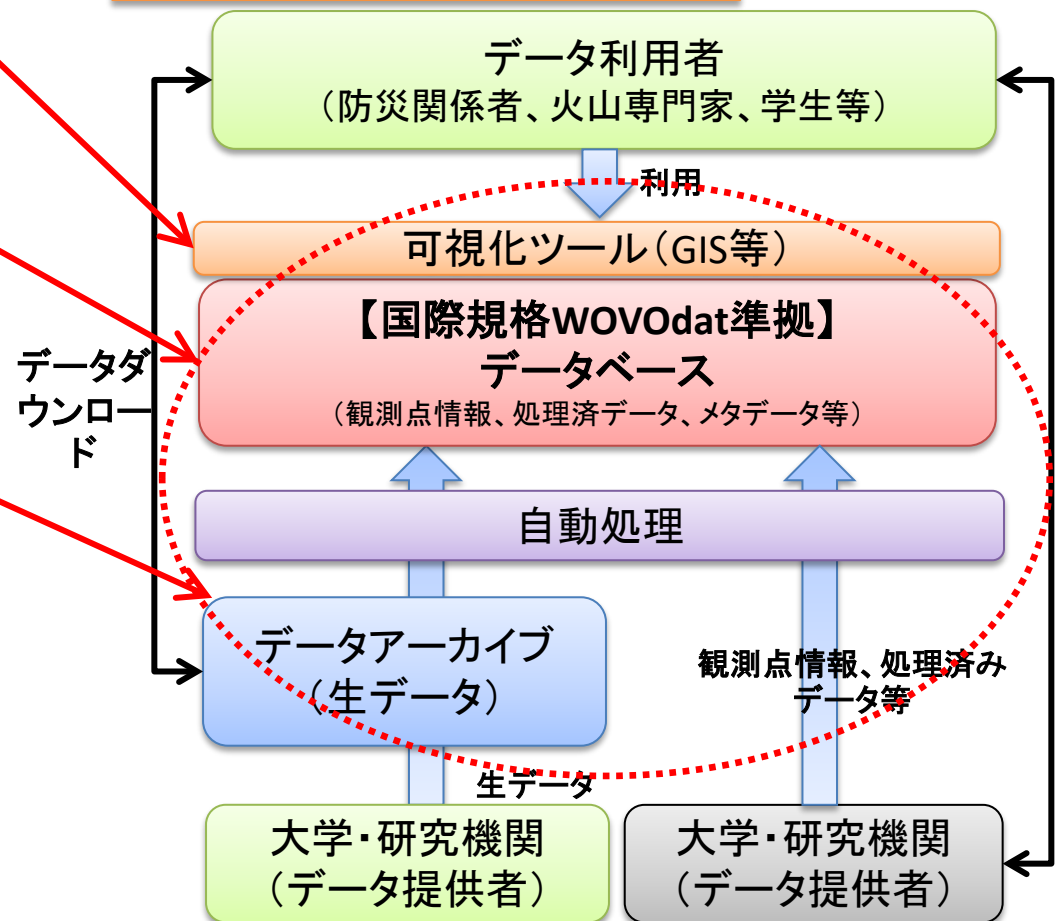
基本的な考え方

- 火山研究の活性化、研究分野・組織間の連携の強化、データの活用促進、火山防災、人材育成に資することを目的としてデータ流通・共有を推進する。
- データ流通・共有の仕組み作りにおいては、予算や人的資源を有効活用し、できるところから着手する。また、データ提供者等の貢献者を尊重する。

概要

- 多項目のデータを可視化し、火山観測データの火山研究や防災等への利用を促進する。
- 国際規格のデータベースにより、関係機関の多項目の観測点情報や処理済みデータを統合。研究分野間、国内外の組織の連携の強化し、共同研究を促進する。
- 一部の生データは防災科研にアーカイブし提供する。データの散逸を防ぐとともに、データ提供者の負担を軽減する。（利用にはデータ提供者の同意が必要）
- データ流通の仕組みを活用し、データの利活用や火山研究の活性化に資する取り組みを実施する体制について今後検討する。受益者負担の考えに基づく維持管理の仕組み等についても引き続き検討する。

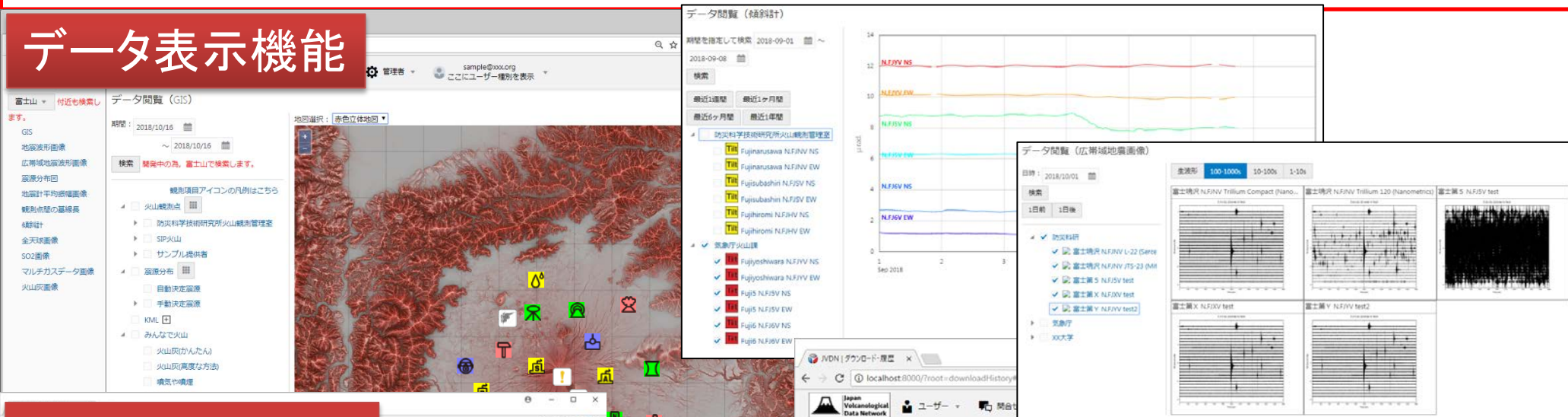
火山分野のデータ流通のイメージ



H30年度の開発状況：データ一元化共有システム（開発中）

WEBブラウザを通じてデータの表示や観測点の登録、データのダウンロード等が行えるシステム。利用にはユーザ登録が必要。

データ表示機能



観測点登録画面

観測点登録画面

観測点設定

所属*

観測所*

国/山

観測点名 (日本語表記)*

観測点名 (英語表記)

観測点コード*

観測点経度(E)*

観測点経度(N)*

適用開始年/月日*

適用終了年/月日*

メンテナンス連絡

観測者*

公開グループ*

防災科研

富士山

富士山観測点 1

Fujisan-Kansokuten 1

RJ11

35.4540

138.28571

1055

2004/11/23

2099/12/31

YYYY年MM月DD日に観測発生の為、XXXXした。

防災科研 <http://www.bcsai.go.jp/>

一覧から選択する

富士山研究グループ 新記録

大学研究家グループ 新記録

追加する				
観測点項目	名称名	設置年月日	終了年月日	
鳥取県地震	センサー-1	2004/11/23	2099/12/31	修正
広島県地震	センサー-2	2004/11/24	2099/12/31	修正
GPS	センサー-3	2005/01/01	2099/12/31	修正

データダウンロード画面

☒ AND
 ☐ OR

Page 1 of 1 (1-4 of 4 件)

利用申請ID	アーカイブデータ	データの起点日	ダウンロード期限	ステータス	ダウンロード日付
1234567890ABCD	防災科研 富士山 富士焼沢 XXXXXXXX	2019/04/12	2018/09/20	準備中	
0000000000000001	防災科研 富士山 富士焼沢 経緯計データ 機器1	2019/04/12	2018/09/20	ダウンロード可	2018/07/27
0000000000000002	防災科研 富士山 富士焼沢 雨量計データ 機器5	2019/04/12	2018/09/22	ダウンロード可	2018/07/27
0000000000000003	防災科研 富士山 富士焼沢 5 888888データ 機器7	2019/04/13	2018/07/20	期限切れ	

H30年度の開発状況：ポータルサイト（開発中）

火山観測データの利用や提供の窓口となるWEBサイト
現在は、課題Aの概要や進捗が確認できる。



対応するデータ

今年度内

- 地震分野
 - 短周期地震計
 - 広帯域地震計
 - 加速度計
 - 測地分野
 - 傾斜計
 - GNSS
 - 歪計
 - 地球熱学分野
 - 温度計
 - 気象分野
 - 気圧計
 - 雨量計
 - 地球化学分野
 - 火山ガス
 - 地質分野
 - 火山灰(写真、降灰量)
 - 岩石コア
 - 地球電磁気学分野
 - 磁力計
 - その他
 - 写真
- SIP:「火山ガス等のリアルタイムモニタリング技術の開発」で取得したデータ
- 地質学分野データ管理・サンプル検討作業部会で検討したデータ

来年度以降

- 地震分野
 - 地震計(リアルタイムデータ)
- 測地分野
 - SAR
- 気象分野
 - レーダー画像
- 地質分野
 - 火山灰(粒度)

「課題 A 各種観測データの一元化」で対応中の困難な課題

• システム開発

- 多数のデータ提供者、多数のデータ利用者、多数の種類データの対応する必要があり、今後も増え続ける。効率的で利用しやすいデータ管理、ユーザ管理、アクセス管理方法が必要。
- 外部とのデータのやり取りや個人情報扱うため、万全のセキュリティ対策

• 維持管理の問題

- プロジェクト終了後も現在の体制で運用する必要がある。
- システムには、維持管理の助けとなる機能（データ管理、問い合わせ応答機能、観測点履歴管理、資料のためのデータ画像の作成機能）が必要。

• 他の研究者や組織の理解と協力が不可欠

- 必ずしも多くの人々がデータ共有の意義を理解しているわけではない。
- データ共有だけでなく、共同研究の活性化につなげる必要がある。

スケジュール

